

令和2年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：福祉センター錦溪苑

指定管理者名：社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	0	0	0	0	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	62,547,000	62,547,000	0	61,733,000	
	その他収入	0	0	0	0	
収入総額		62,547,000	62,547,000	0	61,733,000	
支出	人件費	22,370,000	22,459,951	(89,951)	21,949,141	
	賃金	1,626,000	1,016,801	609,199	1,203,311	
	報償費	519,000	411,500	107,500	475,181	
	消耗品費・器具什器費	299,000	1,033,538	(734,538)	699,246	
	燃料費	471,000	260,464	210,536	442,674	
	印刷製本費	13,000	37,490	(24,490)	42,000	
	光熱水道費	12,936,000	7,771,705	5,164,295	11,286,453	
	修繕費	255,000	6,153,696	(5,898,696)	720,160	
	委託料・保守料	17,611,000	17,562,731	48,269	16,416,899	
	役務費	613,000	791,246	(178,246)	598,454	
	賃借料	5,834,000	5,064,169	769,831	5,793,935	
	支出総額		62,547,000	62,563,291	(16,291)	59,627,454
収支差額		0	(16,291)		2,105,546	0

3. 総合評価

自己評価

○令和2年度は、利用者アンケートをもとに、高齢者の生きがいづくりや、障がい者の外出促進、母子家庭の利用の促進につながる計画を立てたが、新型コロナウイルスの影響もあり、センターまつり、ロビーコンサート、センタークラブ、サークル活動などが集まる事業については、感染拡大防止の観点から事業の中止または貸室を中止する結果となった。このような中、ビーズ教室やおりがみ教室、健康運動教室については、定員を少なくするなど感染防止対策を講じることで実施することができた。

○市の要請に基づき、臨時休館、一部利用制限等に対応するため、随時ホームページの更新ならびに貸室利用者への電話入れなどすることで混乱を防いだ。

○感染拡大防止対策として、手指の消毒、マスクの着用、検温、換気など徹底。また使用後の部屋をはじめ手すり、スリッパなど消毒を徹底して行った。

○当事者団体や地域団体で構成する運営委員会に利用者代表を加え、これまで以上に幅広く意見を集約することができた。

○理学療法士による健康運動教室や看護師による血圧測定、医師による健康相談（福祉なんでも相談）やキタバ薬局と連携したロコモ体操など実施し、健康増進に努めた。

○河内長野警察署と協働で高齢者などを狙った特殊詐欺が急増していることから、センター内にポスターを貼り啓発した。

○保健所からの立ち入り検査の結果、薬注ポンプの不良により塩素濃度が0.3を下回るがあったが、それ以外は適切に管理されているとの評価を得た。

市評価

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者の入館時にはマスク着用、手指消毒、検温等を徹底いただき、施設管理の観点からは、換気、設備配置の見直し、消毒設備の設置等、安全・安心な施設運営を実践いただいた。
- ・施設の臨時休館もあったが、臨時休館の前には利用者への周知をいただくとともに、休館期間中にできること（駐車場の白線引きや設備の修繕など）を円滑に実施いただいた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応について、利用者からの質疑等が多くあったものの、必要に応じて市と連携しながら、適切に対応いただいた。
- ・今後についても、新型コロナウイルス感染症に関するイレギュラーな対応が必要になってくると考えられるが、適切に対応いただきたい。